

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-198840

(43)Date of publication of application : 31.07.1998

(51)Int.Cl.

G07D 9/00

G06F 19/00

(21)Application number : 09-013216

(71)Applicant : SANWA GINKOU:KK

(22)Date of filing : 10.01.1997

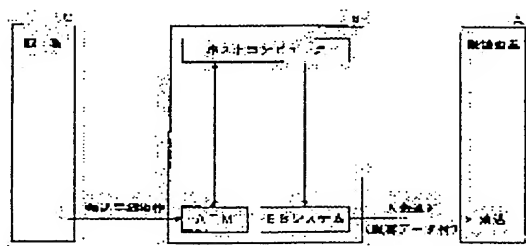
(72)Inventor : SAKINO KIYOBUMI
SAITO TAKASHI

(54) TRANSFER SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a price paying method without burdening a customer so much and also to make a cancellation operation efficient on the side of a company that receives the price.

SOLUTION: When a transferer transfers by using an automatic teller machine(ATM) to a company A such as a sales trader, a service provider which cooperates with a financial institution B about adding 'customer data' to the name and title of the transferer, and when transfer destination data in which the company A is a payee is inputted, a screen that adds 'customer data' to the name and title of the transferee is offered, and thus the transfer is performed with the 'customer data' of the transferer added.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 19.10.2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 15.01.2002

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection] 2002-02389

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection] 13.02.2002

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-198840

(43) 公開日 平成10年(1998) 7月31日

(51) Int. Cl. ⁶	識別記号	F I
G07D 9/00	421	G07D 9/00 421
G06F 19/00		G06F 15/30 360

審査請求 未請求 請求項の数 2 F D (全10頁)

(21) 出願番号 特願平9-13216

(22) 出願日 平成9年(1997) 1月10日

(71) 出願人 592021076

株式会社三和銀行

大阪府大阪市中央区伏見町3丁目5番6号

(72) 発明者 崎野 清文

東京都千代田区大手町1丁目1番1号 株式会社三和銀行内

(72) 発明者 齋藤 高志

東京都千代田区大手町1丁目1番1号 株式会社三和銀行内

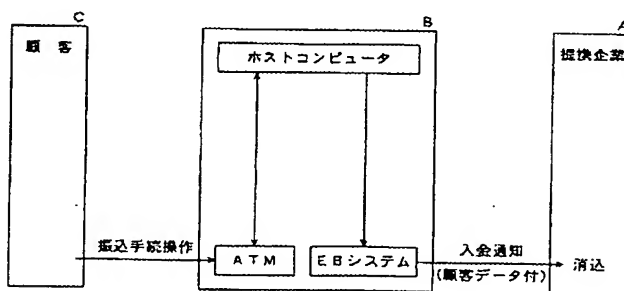
(74) 代理人 弁理士 役 昌明 (外3名)

(54) 【発明の名称】 振込方式

(57) 【要約】

【課題】 顧客に多くの労力をかけない代金支払い方法を提供するとともに、代金を受け取る企業側の消込み作業を効率化すること。

【解決手段】 振込人の氏名・名称に「顧客データ」を付加することについて金融機関と提携した販売業者またはサービス提供者などの企業に対して、振込人が現金自動預け払い機を使用して振込む際に、上記企業を受取人とする振込先データが入力されたとき、振込人の氏名・名称の他に「顧客データ」を付加する画面を提供して、振込人の「顧客データ」を付加して振込むように構成したものである。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 振込人の氏名・名称に「顧客データ」を付加することについて金融機関と提携した販売業者またはサービス提供者などの企業に対して、振込人が現金自動預け払い機を使用して振込む際に、上記企業を受取人とする振込先データが入力されたとき、振込人の氏名・名称の他に「顧客データ」を付加する画面を提供して、振込人の「顧客データ」を付加して振込むことを特徴とする振込方式。

【請求項 2】 金融機関と提携した企業は、「顧客データ」に基づいて、既払者と未払者とを識別することを特徴とする請求項 1 に記載の振込方式。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、多数の顧客から購入代金（サービス代金を含む）を回収する振込方式に関し、特に、支払い・回収・決済・消込み事務を効率化するするように構成したものである。

【0002】

【従来の技術】通信販売業者などの物品販売業者、サービス提供者（以下、企業という）は、顧客に物品を販売あるいはサービスを提供した際に、請求書、振込用紙を送付して代金の請求をする。顧客（支払側）は、振込用紙を銀行に持参して窓口で代金を支払うか、現金自動預け払い機（以下、ATMという）を利用して現金またはキャッシュカードにより代金を支払っている。

【0003】銀行においては、ATMを利用して定期的な支払いを行なう顧客の利便性を図るために、顧客の申出により、振込先データ（銀行名・支店名、口座番号、氏名・名称）を磁気ストライプに記録して、ATMにおける振込先データの入力を不要とする振込専用カードを発行したり、顧客と振込先データとの関係をホストコンピュータのテーブルに登録している。

【0004】（第 1 の従来技術）ATMにより振込専用カードを使用して振込む際には、ATMのメニュー画面（図 6 の a）において、(1) 「お振込み」を選択すると、振込方法を選択する画面（図 6 の b）が表示されるので、(2) 「通帳とカードでお振込み」または「カードでお振込み」を選択すると、キャッシュカードの挿入を要求してくるので、(3) キャッシュカードを挿入して顧客の「口座番号」および「氏名・名称」を入力し、(4) テンキーを操作して「暗証番号」を入力し、(5) テンキーを操作して「振込む金額」を入力し、(6) 振込専用カードにより「振込先データ」を入力すると、(7) 依頼人データ、振込先データ、振込金額を示した確認画面（図 6 の d）が表示されるから、この画面において「確認キー」を押すと、(8) 顧客の預金口座から引落として企業の口座へ振込まれる。

【0005】（第 2 の従来技術）ATMを使用して、ホストコンピュータに企業の振込先データを登録しながら

キャッシュカードで初回に振込む際には、ATMのメニュー画面（図 6 の a）において、(1) 「お振込み」を選択すると、振込方法を選択する画面（図 6 の b）が表示されるので、(2) 「通帳とカードでお振込み」または「カードでお振込み」を選択すると、キャッシュカードの挿入を要求してくるので、(3) キャッシュカードを挿入して顧客の「口座番号」および「氏名・名称」を入力し、(4) テンキーを操作して「暗証番号」を入力し、(5) テンキーを操作して「振込む金額」を入力すると、(6) 振込先データ入力画面に変わるので、振込先の「銀行名・支店名」、「口座番号」、「氏名・名称」を入力する。

【0006】(7) 振込先の「氏名・名称」、「銀行名・支店名」、「口座番号」よりなる振込先データ、振込金額、依頼人の「氏名・名称」を示した確認画面（図 6 の d）が表示されるので、ここで最終確認をして「確認キー」を押すと、顧客の預金口座から引落として企業の口座に振込まれる。(8) ここで確認された「振込先データ」は、顧客の「口座番号」に対応させて登録される。

【0007】ATMを使用して、ホストコンピュータに既に登録された企業の振込先データに基づいてキャッシュカードで振込む際には、ATMのメニュー画面（図 6 の a）において、(1) 「お振込み」を選択すると、振込方法を選択する画面（図 6 の b）が表示されるので、(2) 「通帳とカードでお振込み」または「カードでお振込み」を選択すると、キャッシュカードの挿入を要求してくるので、(3) キャッシュカードを挿入して顧客の「口座番号」および「氏名・名称」を入力し、(4) テンキーを操作して「暗証番号」を入力し、(5) テンキーを操作して「振込む金額」を入力すると、(6) 既に登録された振込先データの一覧表（図 6 の c）が表示されるから、(7) 振込みたい振込先データを選択すると、(8) 振込先の「氏名・名称」、「銀行名・支店名」、「口座番号」よりなる振込先データ、振込金額、依頼人の「氏名・名称」を示した確認画面（図 6 の d）が表示されるので、ここで最終確認をして「確認キー」を押すと、顧客の預金口座から引落として企業の口座に振込まれる。

【0008】（第 3 の従来技術）ATMを使用して、企業へ現金で初回に振込む際には、ATMのメニュー画面（図 6 の a）において、(1) 「お振込み」を選択すると、振込方法を選択する画面（図 6 の b）が表示されるので、(2) 「現金でお振込み」を選択すると、(3) 依頼人の「電話番号」および「振込金額」を入力する画面が表示されるので、ここで「電話番号」および「振込金額」を入力すると、現金投入口が開くので現金を投入すると、(4) 振込先データ入力画面に変わるので、振込先の「銀行名・支店名」、「口座番号」、「氏名・名称」を入力する。

【0009】(5) 次に、依頼人の「氏名・名称」を入力する画面に変わるので、ここで依頼人の「氏名・名称」を入力すると、(6) 振込先の「氏名・名称」、「銀行名

・支店名」、「口座番号」よりなる振込先データ、振込金額、依頼人の「氏名・名称」、「電話番号」を示した確認画面（図6のe）が表示されるので、ここで最終確認をして「確認キー」を押すと、投入された現金が企業の口座に振込まれる。(7) ここで確認された「振込先データ」と顧客の「電話番号」とを対応させて登録したい場合には、受取人登録画面において登録することができる。

【0010】ATMを使用して、「振込先データ」が既に登録されている企業へ現金で振込む際には、ATMのメニュー画面（図6のa）において、(1) 「お振込み」を選択すると、振込方法を選択する画面（図6のb）が表示されるので、(2) 「現金でお振込み」を選択すると、(3) 依頼人の「電話番号」および「振込金額」を入力する画面が表示されるので、ここで「電話番号」および「振込金額」を入力すると、現金投入口が開くので現金を投入すると、(4) 「電話番号」に対応させて既に登録された振込先データの一覧表（図6のc）が表示されるから、(5) 振込みたい振込先データを選択すると、(6) 振込先の「氏名・名称」、「銀行名・支店名」、「口座番号」よりなる振込先データ、振込金額、依頼人の「氏名・名称」を示した確認画面（図6のe）が表示されるので、ここで最終確認をして「確認キー」を押すと、投入された現金が企業の口座に振込まれる。

【0011】振込用紙による振込み、ATMによる振込みの何れの振込方法によって振込まれても、企業側においては、振込んできた顧客の「氏名・名称」に基づく入金の確認作業（所謂、消込み作業）は、煩雑で多くの労力を要する作業であった。

【0012】

【発明が解決しようとする課題】このような従来の振込方式における企業側の消込み作業を効率化するためには、振込んできた顧客の「氏名・名称」の他に、顧客を識別できる仮名、数字、アルファベット等よりなる「顧客データ」の付加が望まれる。

【0013】しかし、ATMによりキャッシュカードを使用して振込む際に、企業側に通知される顧客の「氏名・名称」は、ホストコンピュータに予め登録された口座開設時の氏名・名称に限られており、ATMを操作して、この氏名・名称に識別データなどを付加することはできなかった。

【0014】そこで、この発明は、このような決済上の問題点を解決するために考えられたもので、顧客に対して多くの労力をかけない代金支払い方法を提供するとともに、代金を受け取る企業側の消込み作業を効率化することを目的としている。

【0015】

【課題を解決するための手段】この目的を達成するために、この発明の振込方式は、振込人の氏名・名称に「顧客データ」を付加することについて金融機関と提携した

販売業者またはサービス提供者などの企業に対して、振込人が現金自動預け払い機を使用して振込む際に、上記企業を受取人とする振込先データが入力されたとき、振込人の氏名・名称の他に「顧客データ」を付加する画面を提供して、振込人の「顧客データ」を付加して振込むように構成したものである。

【0016】

【発明の実施の形態】図1のサービスの系統図に示すように、顧客Cの氏名・名称の他に「顧客データ」を付記することに関して銀行Bと提携した企業（以下、提携企業という）Aは、顧客Cからの注文に応じて物品を販売またはサービスを提供するごとに、顧客Bへ請求書、振込用紙を送付して代金の請求をする。この際、請求書および振込用紙には、顧客Cの氏名・名称とともに「顧客データ」を付記する。

【0017】顧客Cは、銀行BのATMを操作して、現金またはキャッシュカードにより企業Aに対して請求に基づく代金を振込む。

【0018】（第1の実施の形態）ATMにより、顧客がキャッシュカードで提携企業に対して始めて振込む際には、ATMのメニュー画面（図2のa）において、(1) 「お振込み」を選択すると、(2) 振込方法を選択する画面（図2のb）に変わるので、「通帳とカードでお振込み」または「カードでお振込み」を選択すると、キャッシュカードの挿入を要求してくるので、(3) キャッシュカードを挿入して顧客の「口座番号」を入力し、(4) テンキーを操作して暗証番号および振込金額を入力すると、(5) 振込先データ入力画面に変わるので、振込先の「銀行名・支店名」、「口座番号」、「氏名・名称」などの受取人情報を入力する。

【0019】(6) ホストコンピュータによって、入力された振込先の「銀行名・支店名」および「口座番号」が、提携企業のものであると判断した場合には、「顧客データの付加画面」（図2のd）に変わるので、この画面において、テンキーを操作して企業から請求書で知らされた「顧客データ」（1234）を入力したのち、「確認キー」を押すと、(7) 「顧客データ確認画面」（図2のe）に変わり、入力された「顧客データ」（1234）が表示され、この「顧客データ」が誤っている場合には「訂正キー」を押すと、「顧客データの付加画面」（図2のd）に戻り、再入力を行なう。ここで表示された「顧客データ」が正しくて「確認キー」を押すと、(8) 振込先の「氏名・名称」、「銀行名・支店名」、「口座番号」よりなる振込先データ、振込金額、依頼人の「氏名・名称」を示した確認画面（図2のf）が表示されるので、ここで最終確認をして「確認キー」を押すと、顧客の預金口座から引落として企業の口座へ振込まれる。

【0020】(9) ここで確認された「振込先データ」を、顧客の「口座番号」に対して登録したい場合には、「登録の確認画面」（図2のh）において「はい」を選

択すると登録される。この登録に際して、「振込先データ」とともに「顧客データ」も付記して登録される。(10) 企業においては、通帳に記帳するか、エレクトロニック・バンキング・システム (E B システム) により入金状況を知ることができる。このとき、顧客の「氏名・名称」の他に「顧客データ」が付記されているので、入金の確認作業 (消込み作業) を容易に遂行することができる。

【0021】なお、振込先データ入力画面において、顧客が入力した振込先データが、提携企業のものであっても、「顧客データを付加画面」(図2のd)において、「確認」を選択された場合には、直接「確認画面」(図2のf)に移る。また、振込先データ入力画面において、顧客が入力した振込先データが、提携企業のものでないと判断した場合には、「顧客データの付加画面」(図2のd)を表示することなく、直接「確認画面」(図2のf)を表示する。

【0022】ATMにより、顧客がキャッシュカードで提携企業に対して2回目以降に振込む際には、ATMのメニュー画面(図3のa)において、(1)「お振込み」を選択すると、(2)振込方法を選択する画面(図3のb)に変わるので、「通帳とカードでお振込み」または「カードでお振込み」を選択すると、キャッシュカードの挿入を要求してくるので、(3)キャッシュカードを挿入して顧客の「口座番号」を入力し、(4)テンキーを操作して暗証番号および振込金額を入力すると、(5)顧客の「口座番号」ごとに既に登録された振込先の一覧を表示した振込先選択画面(図3のc)に変わるので、1つの振込先を選択すると、(6)ホストコンピュータによって、選択された振込先の「銀行名・支店名」および「口座番号」が、提携企業のものであると判断した場合には、「顧客データの確認画面」(図3のe)に変わって、「顧客データ」(5678)が表示されるので、この画面において、「確認」を選択すると、(7)既に登録された「振込先データ」に基づいて、振込先の「氏名・名称」、「銀行名・支店名」、「口座番号」よりなる振込先データ、振込金額、顧客の「氏名・名称」を示した確認画面(図3のf)が表示されるので、ここで最終確認をして「確認キー」を押すと、顧客の預金口座から引落として企業の口座へ振込まれる。(8)企業においては、「顧客データ」付き「氏名・名称」により入金の確認作業(消込み作業)を容易に遂行することができる。

【0023】なお、上記ステップ(6)において表示された「顧客データ」を訂正したい場合には、「訂正キー」を押すと「顧客データの付加画面」(図3のd)に変わるので、この画面で「顧客データ」を訂正することができる。

【0024】(第2の実施の形態)ATMにより、顧客が現金で提携企業に対して始めて振込む際には、ATMのメニュー画面(図4のa)において、(1)「お振込

み」を選択すると、(2)振込方法を選択する画面(図4のb)に変わるので、「現金でお振込み」を選択すると、(3)依頼人の「電話番号」および「振込金額」を入力する画面が表示されるので、ここで「電話番号」および「振込金額」を入力すると、現金投入口が開くので現金を投入すると、(4)振込先データ入力画面に変わるので、振込先の「銀行名・支店名」、「口座番号」、「氏名・名称」を入力する。

【0025】(5)次に、依頼人の「氏名・名称」を入力する画面に変わるので、ここで依頼人の「氏名・名称」を入力すると、(6)ホストコンピュータによって、入力された振込先の「銀行名・支店名」および「口座番号」が、提携企業のものであると判断した場合には、「顧客データ付加画面」(図4のe)に変わるので、この画面において、テンキーを操作して企業から請求書で知らされた「顧客データ」を付記して「氏名・名称」を入力したのち、「確認キー」を押すと、(7)振込先の「氏名・名称」、「銀行名・支店名」、「口座番号」よりなる振込先データ、振込金額、「顧客データ」が付記された依頼人の「氏名・名称」を示した確認画面(図4のf)が表示されるので、ここで最終確認をして「確認キー」を押すと、顧客が投入した現金が企業の口座へ振込まれる。

【0026】(8)ここで確認された「振込先データ」を、顧客の「電話番号」に対応させて登録したい場合には、「登録の確認画面」(図4のh)において「はい」を選択すると登録される。この登録に際して、「振込先データ」とともに「顧客データ」も付記して登録される。

【0027】(9)企業においては、通帳に記帳するか、エレクトロニック・バンキング・システム (E B システム) により入金状況を知ることができる。このとき、顧客の「氏名・名称」の他に「顧客データ」が付記されているので、入金の確認作業 (消込み作業) を容易に遂行することができる。なお、振込先データ入力画面において、顧客が入力した振込先データが、提携企業のものでないと判断した場合には、「顧客データ付加画面」(図4のe)を表示することなく、直接「確認画面」(図4のf)に移る。

【0028】ATMにより、顧客が現金で提携企業に対して2回目以降に振込む際には、ATMのメニュー画面(図5のa)において、(1)「お振込み」を選択すると、(2)振込方法を選択する画面(図5のb)に変わるので、「現金でお振込み」を選択すると、(3)依頼人の「電話番号」および「振込金額」を入力する画面が表示されるので、ここで「電話番号」および「振込金額」を入力すると、現金投入口が開くので現金を投入すると、(4)顧客の「電話番号」ごとに既に登録された振込先の一覧を表示した振込先選択画面(図5のc)に変わるので、1つの振込先を選択すると、(5)ホストコンピュー

タによって、選択された振込先の「銀行名・支店名」および「口座番号」が、提携企業のものであると判断した場合には、「顧客データの確認画面」（図 5 の d）に変わるので、この画面において、「確認」を選択すると、(6) 既に登録された「振込先データ」に基づいて、振込先の「氏名・名称」、「銀行名・支店名」、「口座番号」よりなる振込先データ、振込金額、「顧客データ」が付記された依頼人の「氏名・名称」を示した確認画面（図 2 の f）が表示されるので、ここで最終確認をして「確認キー」を押すと、顧客が投入した現金が企業の口

【0029】(7) 企業においては、「顧客データ」付き「氏名・名称」により入金の確認作業（消込み作業）を容易に遂行することができる。

【0030】（第 3 の実施の形態）なお、振込毎に異なる「顧客データ」、例えば「請求書番号」の付記を求める提携企業の場合には、第 1 の実施の形態および第 2 の実施の形態において、振込毎に上記「顧客が提携企業に対して始めて振込む手順」を実施すればよいのである。

【0031】

【発明の効果】以上の実施の形態に基づく説明から明ら

かなように、この発明の振込方式によると、顧客においては、振込む手続きが簡略化され、提携企業においては、人手をかけることなく、振込み状況を確認して消込むことができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】この発明の振込方式を示すサービスの系統図、

【図 2】この発明の第 1 の実施形態において、初回に振込みを実行する A T M の画面一例、

【図 3】この発明の第 1 の実施形態において、2 回目以降に振込みを実行する A T M の画面一例、

【図 4】この発明の第 2 の実施形態において、初回に振込みを実行する A T M の画面一例、

【図 5】この発明の第 2 の実施形態において、2 回目以降に振込みを実行する A T M の画面一例、

【図 6】従来の振込みを実行する A T M の画面一例である。

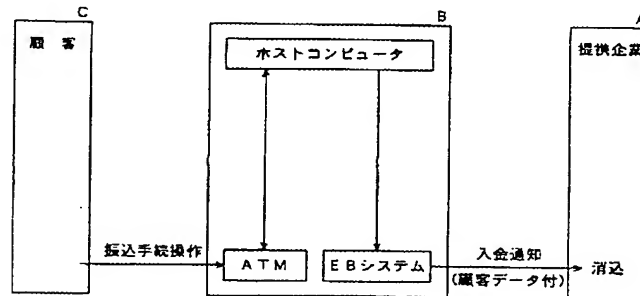
【符号の説明】

A 企業

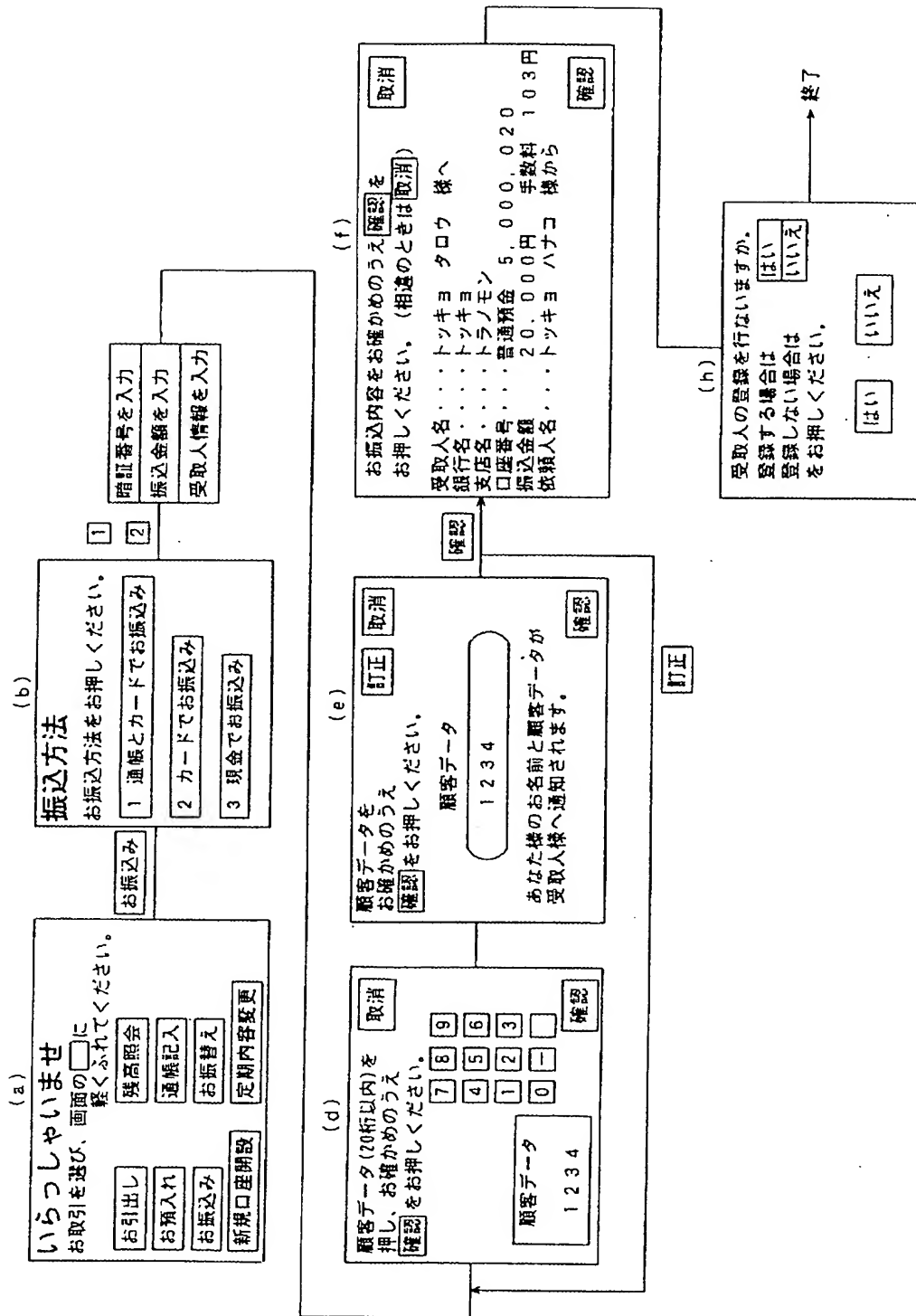
B 顧客

20 C 銀行

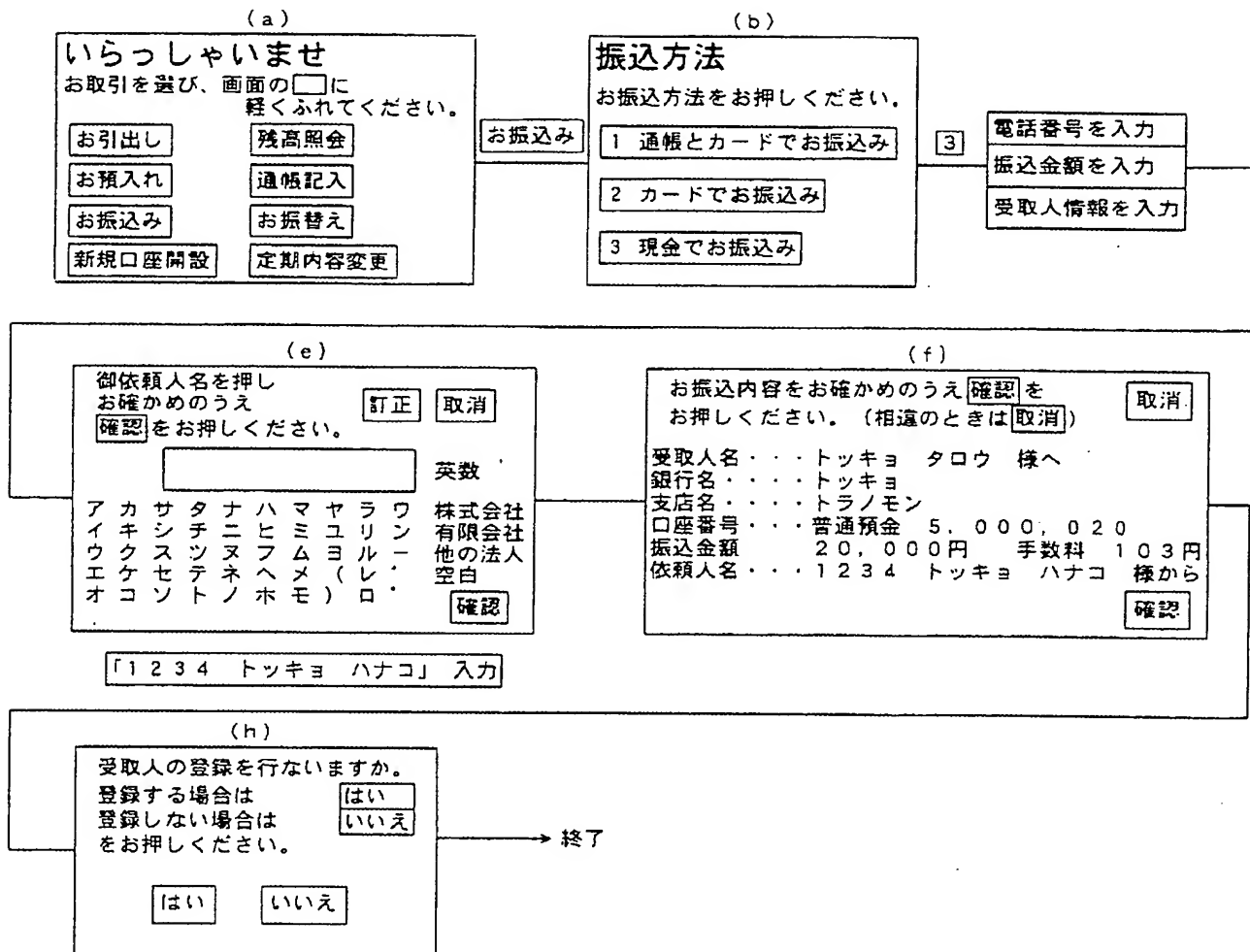
【図 1】



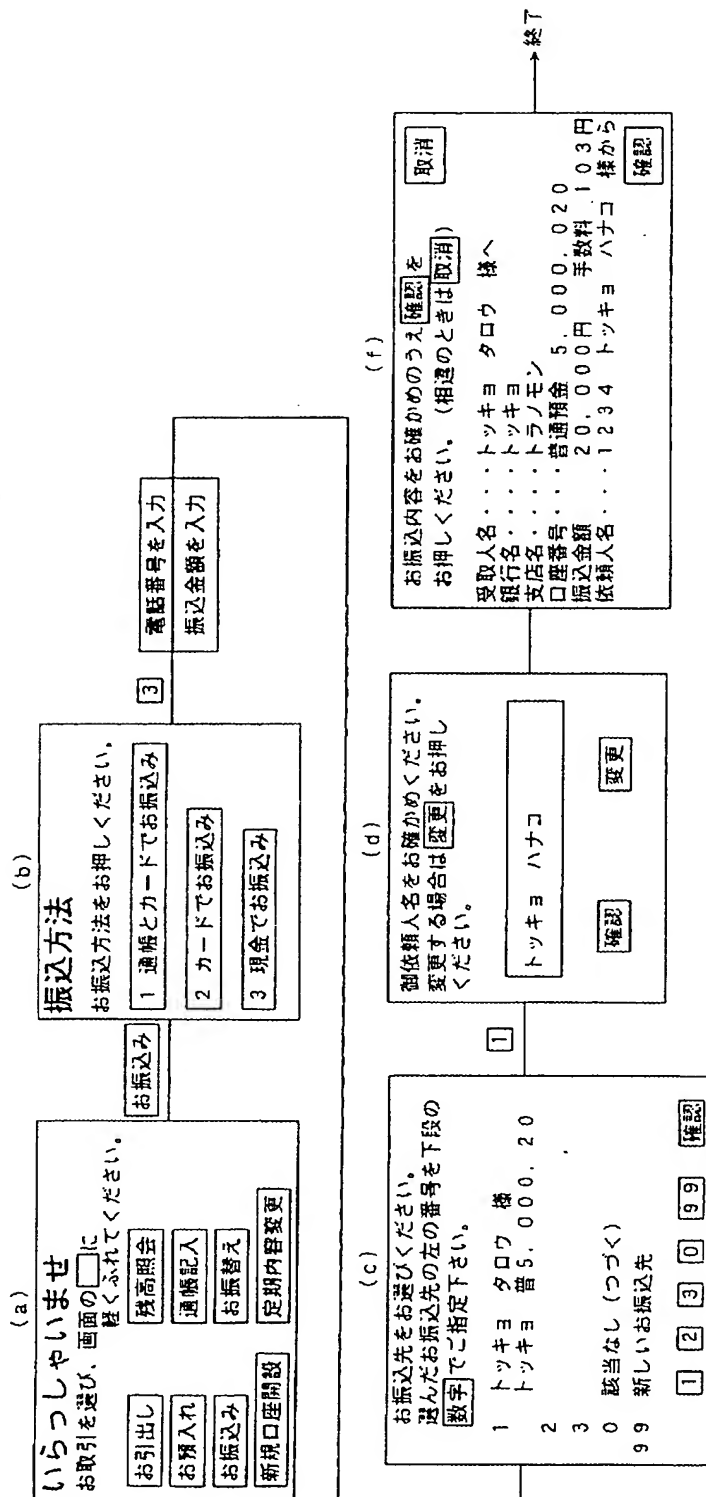
【図 2】



【図4】



【図 5】



【図6】

(a)

いらっしゃいませ

お取引を選び、画面の に軽くふれてください。

お引出し	残高照会
お預入れ	通帳記入
お振込み	お振替え
新規口座開設	定期内容変更

(b)

振込方法

お振込方法をお押しください

1 通帳とカードでお振込み
2 カードでお振込み
3 現金でお振込み

(c)

お振込先をお選びください。選んだお振り込み先の
左の番号を下記の 数字 でご指定下さい。

1 トッキョ タロウ 様
2 トッキョ 普5,000,20
3
0 該当なし(つづく)
99 新しいお振込先

確認

(d)

お振込内容をお確かめのうえ 確認 を
お押しください。(相違のときは 取消)

受取人名...トッキョ タロウ 様へ

銀行名...トッキョ

支店名...トラノモン

口座番号...普通預金 5,000,020

振込金額 20,000円 手数料 103円

依頼人名...トッキョ ハナコ 様から

取消

確認

(e)

お振込内容をお確かめのうえ 確認 を
お押しください。(相違のときは 取消)

受取人名...トッキョ タロウ 様へ

銀行名...トッキョ

支店名...トラノモン

口座番号...普通預金 5,000,020

振込金額 20,000円 手数料 103円

依頼人名...1234 トッキョ ハナコ 様から

電話番号...03-4321-1234

取消

確認